

人口減少危機突破宣言

我が国においては、人口減少・少子高齢化が加速的に進行しており、令和4年の人口動態統計によると、合計特殊出生率が1.26と過去最低に並び、出生数も統計開始以来、初めて80万人を割り込んだ。

本県においては、県民の皆様の意欲的な取組みにより、令和元年から2年にかけて合計特殊出生率は1.44から1.48へと上昇した。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による対面機会の喪失や産み控えなどの影響から、合計特殊出生率は2年連続で下降し、中長期的な目標としている県民の皆さまの希望出生率1.87から大きく乖離する1.40にまで落ち込み、まさに危機的な状況となっている。

ようやくコロナ禍を脱して日常を取り戻しつつある今、私たちは、この下降トレンドを上昇へと転換させられるか否かの瀬戸際に立っている。このため、本年を人口減少危機突破元年として、出生率回復に向けた抜本的・集中的な取り組みのスタートの年とすることをここに宣言する。

行政は、その先頭に立つことは勿論であるが、行政だけで実現することはできず、県民の皆さまとこの危機的な状況を克服する決意を共有することが不可欠である。

人口減少のトレンドを回復局面に転じさせるには今が正念場である。しかし、私たち山梨県民が有する全ての叡智を総動員し、直ちに取り組めば、将来を変えていくに当たって遅きに失することはない。

ふるさと山梨が、未来にわたって永く愛すべきふるさとであり続けられるよう、オール山梨県の総力を尽くし、この危機を克服・突破すべく、県民の皆さまの御協力をお願いする。

2023年6月9日

山梨県知事 長崎 幸太郎